

# 訴訟・紛争・交渉案件の勘所と 平時の対応・予防法務

法務マネジャーのための「最新法務実務マスター・コース」〔第1回開催分（全7回）〕

- 日 時 ● 2017年9月6日（水）14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 原 雅宣氏 TMI 総合法律事務所 弁護士 ・ ニューヨーク州弁護士

2004年慶應義塾大学法学部法律学科卒業、2005年弁護士登録、2013年ボストン大学ロースクール(LL.M.)卒業。主な取扱分野は、企業間の商事紛争・訴訟、不正調査案件、労働案件（使用者側）、製造物責任・リコール対応、国内外の企業法務全般。日本民事訴訟法学会、東京弁護士会民事訴訟問題等特別委員会所属。東京地方裁判所との民事訴訟の運営に関する懇談会協力委員（2016年～）。主著として、『消費生活用製品のリコール対応・費用求償におけるポイント』（BUSINESS LAW JOURNAL、2015年7月号）他多数。

## ●プログラム●

### ■講義／訴訟・紛争・交渉案件の勘所と平時の対応・予防法務 <14:00—15:30>

自社の抱える紛争案件を勝ち筋にするには、平素の証拠化・文書管理や予防法務が重要です。企業間訴訟を主な取扱分野とする訴訟弁護士が、訴訟から逆算して、勝つために平素から行っておくべき対応や予防法務・契約法務についてお話しします。その上で、訴訟で勝訴・勝訴的和解の為に法務担当者が果たすべき役割についてお話しします。

1. 平時の対応—文書管理、証拠化作業のコツと留意点
2. 予防法務—限られた時間での効率的な契約書のチェック
3. 有事—初動のポイント(法務担当者による社内調査のポイント)
  - (1) 社内ヒアリングのコツ
  - (2) 裁判官の視点を見据えた資料収集の仕方
4. 国内訴訟の勘所
  - (1) 近時の民事訴訟の実務動向
  - (2) 訴訟の各フェーズにおける法務担当者の役割
5. 訴訟・紛争・交渉案件で勝つためのいくつかのアイデアと逆転勝訴の端緒

### ■講義をベースとしたディスカッション <15:45—17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

## ●参加要領●

### ●受講料：1名（資料代含む）

正会員	31,320円	一般	34,560円
-----	---------	----	---------

[本体価格 29,000円 本体価格 32,000円]

\* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。<http://www.bri.or.jp>

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者が出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

### ●申込先（社） 企業研究会

担当) 居代 E-mail: ishиро@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516 / FAX 03-5215-0951 ~ 2

160321	2017 9/6	最新法務実務マスター・コース	
会社名			
住所	〒		
TEL		FAX	
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			

※裏面もご覧ください